

祝日を知ると アメリカが見えてくる

山本玲子

2021年1月20日、ジョー・バイデンが正式に合衆国第46代大統領に就任する。就任式で新大統領は、右手を挙げ、左手を聖書の上に置いて宣誓を行う。宣誓の最後の言葉は「So help me God」「神に誓って」の意味だ。

聖書に手を置いての宣誓と「神に誓って」という言葉からわかるように、アメリカはキリスト教の国である。もちろん、宗教の自由は認められており、多民族、多宗教の国という現実がある。

「メリークリスマス」は言わない
キリスト教圏で12月25日のクリスマスは祝日となっている。アメリカも同様に、当日は礼拝に行き、家族とともに過ごすのが一般的だ。

そんなアメリカで、近年「Merry Christmas」が言われなくなっている。ユダヤ教の「ハヌカ」をはじめ、各宗教の祭りが多い12月から

年始にかけてのあいさつは「Happy Holidays」。さまざまな宗教を持つ人への配慮といえる。実際、アメリカに住んでまもない友人が知人に「Merry Christmas」と声をかけたら、その場で注意されたという。相手はユダヤ人であったそうだ。

宗教的自由を求め、

イギリスから新大陸へ

アメリカ初の成功をおさめた植民地は、アメリカ北東部マサチューセッツ州の「プリマス」である。

イングリッド王ジェームス1世による国教会の弾圧を恐れ、信仰の自由を求めてやってきた清教徒「ピルグリム・ファーザーズ」が、メイフラワー号に乗り、1620年11月、プリマスの地に到着した。

清教徒たちはさっそく、新天地で生活を始めるが、現実には厳しかった。最初の冬に新大陸に渡った人の半数が亡くなった。実はそれまでも多

くの清教徒がアメリカに渡るが、農作物栽培の難しさ、冬の寒さ、清潔ではない水の影響から多くの植民地が失敗に終わっていた。

そこに手を差し伸べたのがプリマス地方の先住民であるワンパノア族である。彼らは親切にもトウモロコシやピーナッツなどの栽培方法や

狩猟の仕方を清教徒たちに教えた。先住民の知恵を授かった清教徒たちは翌年、予想以上の収穫に恵まれる。彼らは感謝を込めて先住民を食事に招待し、これを盛大に祝った。11月

第4木曜の「感謝祭(Thanksgiving Day)」はこの祝宴に由来する。ちな



感謝祭は家族が集い豪華な食事で祝うのがならわし

みに世界屈指の農業大国であるアメリカの、農産品の7分の4は先住民から栽培法を伝授されたものだという。

国民的リーダーの誕生日が祝日

アメリカ連邦政府の祝日は年10日。

10日間のうち、二人の偉大なリーダーの誕生日が祝日に定められている。一人は建国の父であり初代大統領であるジョージ・ワシントン。そしてもう一人が公民権運動の指導者、マーティン・ルーサー・キング・ジュニア(以下キング牧師)である。ワシントンの誕生日は2月22日だが、実際には2月第3月曜が祝日となっている。月曜を祝日にするので意図的に3連休をつくり余暇に当ててもらう法で、2000年に導入された日本のハッピーマンデーはこれに倣ったものだ。

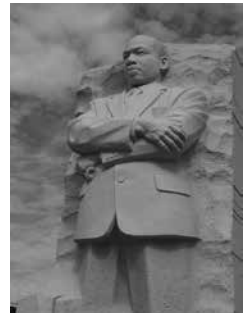
ところで、歴代大統領中人気ナン

バーワンを誇るリンカーンも誕生日が2月。二人の偉大な大統領の誕生日を祝し、2月第3月曜を「大統領の日 Presidents Day」と呼ぶようにならなっている。なお、歴代大統領を祝う日ではない。

もう一人のリーダー・キング牧師の誕生日は1月15日。1月第3月曜が祝日となっている。

キング牧師は、1929年南部ジョージア州のアトランタ生まれ。父と同じ牧師の道を進み、1954年アラバマ州モントゴメリーの教会に着任した。翌年12月、黒人女性ローザ・パークスが白人用と黒人用に分けられていたバスの白人席に座り、移動せずに逮捕される。これを発端にバスでの人種差別は違法と、黒人たちによるバスボイコット運動が始まった。この運動を率いたのがキング牧師である。

事件をきっかけに全米各地で公民権運動のムーブメントがいくつも起こり、やがて1963年8月、20万人が参加する歴史的な「ワシントン大行進」へとつながっていく。大行進のクライマックスでキング牧師が力強く説いた「I Have a Dream 私



ワシントンの中心部に立つキング牧師のメモリアル

には夢がある」のスピーチは公民権運動の歴史の一部となり、さらに翌1964年の公民権法制定に結びついていく。

非暴力の人であり、インド独立の父・ガンジーに感銘を受けたキング牧師は、自身も非暴力を貫いた。牧師ら公民権運動に参加する人々が、州政府や人種差別主義者から目を覆いたくなるような暴力を受けながらも、決して抵抗することなく権利を訴え続けた。1964年12月、キング牧師にノーベル平和賞が授与されたのは周知のとおりだ。その4年後のメンフィス遊説中、何者かによってキング牧師は暗殺された。正式に連邦政府の祝日となったのは1986年。アフリカ系アメリカ人初、唯一の祝日である。

軍人に敬意を払うアメリカ人

10日間の祝日のうち、軍人に関する祝日も2日ある。

1日が5月最終月曜の「メモリアルデー Memorial Day」。直訳すれば「追悼日」となるが、追悼の対象は兵役中に命を落とした軍人たちだ。より正確に言えば「戦争戦没者追悼記念日」となる。もう1日が11月11日の「ベテランズデー Veterans Day」「退役軍人の日」である。前述のとおりアメリカの祝日は月曜が多いが、ベテランズデーに関しては特定日となっている。これは1918年の同日、第一次世界大戦が終結したことに起因する。両日とも、全米各地の墓地に眠る英霊や退役軍人に敬意を表し、セレモニーやパレードが行われる。

アメリカでは命をかけて国を守る軍人に対する畏敬の念が、日本人の想像の域をはるかに超えるほど強い。15年ほど前こんなことがあった。アメリカの国内線に搭乗中、突如機内に大きな拍手が巻き起こった。客



ベトナム戦争戦没者慰霊碑。メモリアルデーでも常に献花がある

室乗務員が「イラクからふるさとに帰る〇〇さんが搭乗していらっしゃいます。この方に皆で敬意を伝えましょう」とアナウンスしていたのだ。また、空港の搭乗口でフライトを待っているときも、同じようなアナウンスがあった。次の瞬間、搭乗口の前に花道ができ、多くの人が拍手するなか、迷彩服の若者が歩いて行った。

物議を醸すコロンバスデー

10月第2月曜の「コロンバスデー Columbus Day」の祝日が、今、揺れている。「コロンバス」とはアメリカ大陸の発見者とされるコロンブスのことだが、いくつかの州ではこの日を祝日と認めていない。よく考えれば先住民にとっては悪夢の始まりであり、快く思わない人がいるのも当然のこと。サウスダコタのように「先住民の日」とする州が増えている。

祝日はほかにも元日（1月1日）、独立記念日（7月4日）、レイバデー Labor Day＝労働者の日（9月第1月曜）がある。アメリカ人にとって祝日は、宗教と歴史、国民の想いを反映したものといえる。